

領域横断

専門分野

授業科目	クリティカルケア看護	講師	氏名	①田中美穂子 ②中島可織	開講 年次	単位・時間	
			所属	①病院 ②専任教員			
			実務経験	①救急看護認定看護師 ②臨床看護師			
科目のねらい	クリティカル看護とは、急激に生命を脅かす対象に対して行われる看護である。また、対象を早期に回復させるために多職種との連携が行われている。突然訪れる生命の危機状態のある対象を理解し、救命に必要な知識・技術を身につけ、社会復帰に向けて必要な看護師の役割・多職種連携を学ぶ。						
到達目標							
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 急性期から回復期看護の特徴を説明できる。 急性期から回復期にかけてのあらゆる発達段階の対象の変化をイメージできる。 急性期から回復期の治療とその環境の特殊性を説明できる。 ICUで行われる治療と看護を理解し、全身の観察項目を説明できる。 急性期の治療（気管内チューブを抜管した）を終えた対象の、（科学的）根拠を踏まえた観察項目が説明できる。 急性期・回復期医療の看護師の役割と多職種の役割について説明できる。 						
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 急性期疾患や病態、身体侵襲とその生体反応の特徴をふまえて看護実践を提案できる。 急性期から回復期にかけての看護師の役割を考えることができる。 						
主体的学習態度	1. 救急治療を必要とする対象の健康危機状況について講義の知識・文献検索を用いながらグループでディスカッションすることができる。						
科目評価	定期試験(筆記) 60% 課題(レポート含む) 40% 合計100%						
テキスト	系統別看護学講座 別巻 臨床外科看護総論(医学書院) 系統別看護学講座 別巻 救急看護学(医学書院) ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得 (メディカ出版)						
参考文献							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	クリティカル看護とは生命の危機的状態にある対象の特徴と看護師の役割の理解(危機的状況とは)	○			中島可織		急性期の定義及びクリティカルケアについて学ぶ。 救急医療の考え方について学ぶ
2	救急医療体制 1) トリアージ・重症度の判断 2) 救急搬送の実際	○			田中美穂子		事前課題①：救急におけるトリアージと重症度 救急を必要とする対象と家族への情報収集とアセスメントを学ぶ。 救急外来における対象の緊急度と優先順位について学ぶ。 救急対応のための準備について学ぶ。 救急カートにそのような物品・薬剤が入っているか学ぶ。
3	生命兆候を示す身体反応をとらえる(臨床推論) 1) VS・意識レベルより優先順位 2) 救急カート	○					事前課題②：BLS・ACLSの基礎知識 心肺蘇生法の基本的知識と一次救命処置・二次救命処置の実際を学ぶ。
4		○				各専門看護学からの構造からの機能日常生活から見たからだ	院内急変時における初期対応の流れについてシミュレーションで学ぶ。
5	BLS、ACLS		○				
6	生命の危機的状態にある対象への看護(病院内におけるCPA・院内急変時の特徴)	○			田中美穂子		事前課題④：熱傷 重症熱傷患者への治療や問題について発表し、シミュレーションする。
7	・病院内での応援体制		○				事前課題⑤：ME機器について基礎知識 ME機器の使用方法・観察点について学ぶ。
8	生命の危機を脱した対象への看護(ICUシンドローム・スバゲッティ症候群・抜管後)	○			中島可織		
9			○				
10	集中治療を必要とする対象への看護(熱傷)各発達段階	○					
11			○				
12	ME機器管理 1) 心電図(12誘導心電図の検査方法と手順)						
13	2) 輸液ポンプ 3) シリンジポンプ 4) 人工呼吸器	○		○			
14	5) 中心静脈(圧) 6) スワングアンツカテーテル 6) ECMO						
15	各発達段階の集中治療と看護(実践発表)			○			
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえて、臨床に則した授業・演習を行います。						